

## 実証試験要領の改定について（案）

2013/09/25 JTCCM

実証試験要領の主な改定点（案）は以下のとおりである。

箇所	内容	詳細	備考
<b>タイトル</b>			
分野名	変更	地球温暖化対策技術分野（照明用エネルギー低減技術）	H24 年度の審議を踏まえ、「反射板・拡散板等」を削除。
<b>第 1 部 本編</b>			
第 1 章 緒言 1.対象技術	変更	表 1-1 実証対象として想定される技術の例	昨年度までに実施済みの技術を記載した。
第 1 章 緒言 3.用語の定義	変更 追加	表 1-2 本要領における用語の定義	環境技術実証事業実施要領及び他分野の実証試験要領との整合化。
第 2 章 実証試験実施体制 4.実証機関	追加	実証手数料の詳細額を設定し、徴収する。	実証開始から 2 年が経過したため、「国負担体制」から「手数料徴収体制」に移行する。
第 3 章 実証対象技術の公募 1.申請	変更 追加	申請書に関する説明を変更・追記し、明確化した。	H24 年度の申請結果を踏まえ、内容を見直した。
第 4 章 実証試験の方法 1.実証項目及び参考項目の設定 (1) 実証項目及び参考項目の設定	変更	表 4-1 実証項目及び参考項目	対象技術の変更に伴い、修正した。

箇所	内容	詳細	備考
<b>第1部 本編</b>			
第4章 実証試験の方法 1.実証項目及び参考項目の設定 (2)用語の定義	変更 削除	表4-2 用語の定義	「年間電力料金削減量」、「年間照明消費電力削減率」を削除。
第4章 実証試験の方法 2.実証項目及び参考項目の試験方法 (1)配光曲線	追加	…対象技術を実際に設置する状態で実施する。ただし、実証対象技術が照明器具でない場合…	明確化した。
第4章 実証試験の方法 2.実証項目及び参考項目の試験方法 (3)照明消費電力量低減率	変更	エネルギー評価を DIALux を用いて行うこととした。	シミュレーションを導入することで、照明用エネルギーの低減効果の可視化が可能になる。
第4章 実証試験の方法 2.実証項目及び参考項目の試験方法 (4)年間照明消費電力料金削減量	変更	表4-9 電力量料金単価の設定値	現状の料金設定を反映
<b>第2部 付録</b>			
第1章 環境技術実証事業の概要	変更	全面差替え	H25ETV 事業実施要領に整合
第2章 申請書類様式	変更	(1)公開用連絡先、企業名・技術名（型番含む）の英文表記欄を追加 (2)技術の特徴に関する欄に注記を追加	